docomo

Ascend HW-01E

クイックスタートガイド ’12.10

docomo with series

詳しい操作説明は、HW-01E に搭載されている「取扱説明書」アプリ（e トリセツ）をご覧ください。

はじめに

「HW-01E」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

本端末の操作は、本書のほかに、本端末用の取扱説明書アプリケーションである「取扱説明書」で、さらに詳しく説明しています。

■「クイックスタートガイド」（本書）

本端末の基本的な操作や画面の表示内容について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末の取扱説明書アプリケーション）

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。アプリケーション画面（P.47）で「Ascendアプリ」→「取扱説明書」をタップすると起動できます。

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って、アプリケーションのダウンロードとインストールを行う必要があります。
  なお、アプリケーションはデータ量が大きいため、ダウンロード時のパケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」→本端末の「取扱説明書」アプリを検索してダウンロードしてください。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。
以下のドコモのホームページよりダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

■ スマホなるほどツアーズ for docomo with series（本端末のウィジェット）

本端末の便利な機能や知っておきたい基本操作をドコモダケと一緒に楽しく学べるウィジェットです。
ホーム画面（P.40）で をタップすると起動できます。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

<例：ホーム画面に表示されているアイコンを操作し、アプリケーションやメニュー項目などを続けて選択する操作手順>

❶　❷
1　ホーム画面で㊦→「電話帳」
2　☰→「その他」→「インポート／エクスポート」
❸

❶ 名称表示のないアイコン
❷ 名称表示のあるアイコンやメニューなどの選択項目
❸ 本端末のキー（P.25）

お知らせ

- 本書の本文中においては、「HW-01E」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作手順や画面表示は、主に本端末のお買い上げ時の状態に基づいて記載しています。アプリケーションやサービスなどを追加／変更した場合は、操作手順や画面表示が異なる場合があります。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書は、ホームアプリがdocomo Palette UIの場合で説明しています。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定については、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書で説明しているアカウントの登録方法やアプリケーションの操作方法などは、登録先の都合やアプリケーションのアップデートなどにより、事前の通知なく変更される場合があります。
- 本書の内容やホームページのURL、および記載内容は、将来、予告なしに変更する場合があります。

本体付属品

■HW-01E本体
（保証書含む）

■リアカバー
HW04

■クイック
スタートガイド

■電池パック
HW03

■アンテナ付イヤホン
変換ケーブル
（試供品）

■microSDHC
カード（16GB）
（試供品）

目次

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータは microSD カードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、データ通信を無効に設定した場合でもパケット通信料がかかる可能性があります。

- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、音楽／動画の再生音やアラーム音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.52）。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、Twitterなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットKid以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

● ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

■ **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠ **危険**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ **次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、電池パック、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本端末内のminiUIMカードスロットやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.17「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5.ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース（前面）		PC樹脂	なし
電源キー		PC樹脂	なし
受話口保護ネット		ステンレススチール	エッチング
表面		ガラス	なし
音量キー		PC樹脂	なし
カメラ	外装パネル	アルミニウム	なし
	レンズ	ガラス	なし
フラッシュカバー		PMMA樹脂	なし
スピーカーネット		ステンレススチール	エッチング
ワンセグ／モバキャスアンテナ	先端部分	PC樹脂	なし
	ロッド部分	ステンレススチール	なし
リアカバー		PC樹脂	なし
卓上ホルダ用充電端子		銅	金メッキ
電池パック	表面（上端／下端部分）	ABS樹脂＋PC樹脂	なし
	印字部分（周囲）	PET	UV塗装
	端子部分	FR-4（ガラスエポキシ基板）	ニッケルメッキ+金メッキ
ドコモminiUIMカードスロット端子		ステンレススチール	ニッケルメッキ+金メッキ
microSDカードスロット		ステンレススチール	ニッケルメッキ+金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
本端末、電池パック、アダプタ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチパネルが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

電池パックについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃〜35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃〜35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、外部接続端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモ miniUIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどにドコモ miniUIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモ miniUIM カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ miniUIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモ miniUIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモ miniUIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモ miniUIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について

本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯、変調方式、および想定される与干渉距離や周波数変更の可否については、本端末の電池パック挿入部に以下のように記載されています。各記号の意味は、次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4

2.4：周波数 2400MHz 帯を使用する無線装置であることを示します。

FH1：Bluetooth 機能の変調方式が FH-SS であり、想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。

DS4/OF4：無線LAN機能の変調方式がDS-SS、OFDMであり、想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについてのお願い

- **本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は 13.56MHz 帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

注意

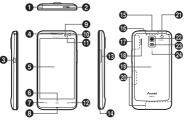
- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㉿」が本端末の銘板シールに表示されております。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

各部の名称と機能

❶ **ワンセグ／モバキャスアンテナ**

❷ **⬭電源キー**

❸ **外部接続端子**

❹ **受話口**

❺ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❻ **⌂ホームキー（タッチキー）**
- ホーム画面に戻るときに使用します。
- ロングタッチすると、最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます。

❼ **⮌バックキー（タッチキー）**
- 直前の画面に戻るときに使用します。

❽ **送話口／マイク**

❾ **照度センサー／近接センサー**※1
- 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- 通話中に顔などが近づいたことを感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。

❿ **インカメラ**

⓫ **LEDランプ**
- 充電時に点灯したり、電池残量が少ないときに点滅します（P.32）。
- 点滅して不在着信や新着メールを通知します。

⓬ **☰メニューキー（タッチキー）**
- 各画面でメニューを表示するときに使用します。

⑬ **音量上／下キー（▯／▯）**

⑭ **ストラップホール**

- ストラップを取り付ける際は、リアカバーをいったん取り外したあと、ゴムの詰め物を取って、ストラップを本端末の穴に通し、内部のフックにかけてから、再びリアカバーを取り付けます（ゴムの詰め物は、必要に応じて取り付け直してください）。

⑮ **Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部※2**

⑯ **サブマイク**

- 通話時のノイズ音を低減するために使用されます。

⑰ **GPSアンテナ部※2**

⑱ **スピーカー**

⑲ **リアカバー**

- リアカバーを本体から取り外した状態で、電源キーのボタンカバーを強く押し込んだりしないでください。ボタンカバーが外れる恐れがあります。
- リアカバー裏面のシールは、はがさないでください。はがした場合、ICカードを読み書きできなくなることがあります。

⑳ **FOMA／Xiアンテナ部※2**

㉑ **卓上ホルダ用充電端子**

㉒ **アウトカメラ**

㉓ **フラッシュ**

㉔ **マーク**

- ICカードを搭載しています。このマークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能を利用したり、対応するアプリケーションをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外しできません。

※1：各センサー部分に保護シートやシールなどを貼ると、センサーが誤動作する場合があります。

※2：アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通話や通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

■ イヤホンマイクの接続について

本端末の外部接続端子に丸型プラグ（3.5mmØ）のイヤホンマイクなどを接続する場合は、付属のアンテナ付イヤホン変換ケーブル（試供品）を使用します。

- microUSBコネクタの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、本端末の一部の機能（電話の発着信など）を利用することができません。

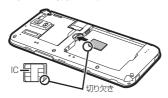
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモ miniUIM カードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください（P.31）。

取り付けかた

1 ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、挿入口へ矢印の方向へ、固定されるまで差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

取り外しかた

1 ドコモminiUIMカードを指の先で軽く押さえながら、手前にゆっくりスライドさせるように取り出す

お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモminiUIMカードはなくさないようにご注意ください。

microSDカード

microSDカードを使用すると、本端末のデータを保存したり、mircroSDカード内のデータを本端末に取り込んだりすることができます。

- 本端末は 2GB までの microSD カード、および32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年10月現在）。
- 各microSDカードの本端末への対応状況については、microSDカードのメーカーへお問い合わせください。

microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り付け／取り外しは、リアカバーを取り外してから行います。

取り付けかた

1 microSDカードの金属端子面を下にして、挿入口へ矢印の方向へ、固定されるまで差し込む

取り外しかた

- microSDカードの取り外しは、必ずmicroSDカードのマウントを解除してから行ってください。

1 microSDカードを指の先で軽く押さえながら、ゆっくりスライドさせるように取り出す

電池パック

電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、手でしっかり持って行ってください。

取り付けかた

1 リアカバーのミゾの部分に指先をかけ、矢印の方向へ持ち上げて取り外す

2 電池パックのリサイクルマークが印刷されている面を上にして、電池パックと本端末の金属端子を合わせて❶の方向に押し付けながら、❷の方向に押し込んで取り付ける

3 リアカバーと本端末の上部を合わせて、矢印の方向へ押し込んで取り付ける

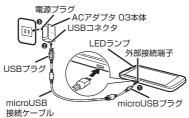
4 ○の部分を指で押し、本端末とリアカバーの間にすき間がないことを確認する

取り外しかた

1 リアカバーを取り外し、本端末のミゾの部分に指先をかけ、電池パックを矢印の方向へ持ち上げて取り外す

充電

ACアダプタを使って充電する

<例：ACアダプタ 03（別売）を使用して充電する場合>

1 **本端末の外部接続端子にmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを下にして、水平に差し込む（❶）**

2 **microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタ本体のUSBコネクタに図の向きに水平に差し込む（❷）**

3 **ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む（❸）**

充電が開始され、ステータスバーに が表示されます。充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

- 充電中はLEDランプが点灯し、点灯色で充電状態の目安がわかります。電池残量が14%以下は赤、15～90%までの間は黄、90%以上は緑で点灯します。

4 **充電が完了したら、コンセントからACアダプタ本体の電源プラグを抜く**

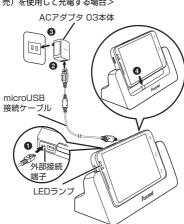
5 **本端末の外部接続端子からmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを水平に抜く**

6 ACアダプタ本体からmicroUSB接続ケーブルのUSBプラグを水平に抜く

■ お知らせ

- 電池残量がない状態で充電を開始すると、LEDランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。
- microUSB接続ケーブルを使用して本端末とパソコンを接続しても、本端末を充電できます。ただし、一部の機種を除いて、パソコンの電源を切った状態では充電できません。

卓上ホルダを使って充電する

＜卓上ホルダ HW02（別売）とACアダプタ 03（別売）を使用して充電する場合＞

1 卓上ホルダの外部接続端子にmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして差し込む（❶）

- microUSB接続ケーブルのプラグに無理な力がかからないように水平にゆっくり差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタ本体のUSBコネクタに図の向きに水平に差し込み（❷）、ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む（❸）

3 本端末の外部接続端子と卓上ホルダの充電端子の位置を合わせて取り付ける（❹）

充電中はLEDランプが点灯し､充電が完了すると消灯します。

- 本端末を卓上ホルダにしっかりと取り付けてください。本端末の外部接続端子と卓上ホルダの充電端子が正しく接続されていない場合、充電されなかったり、パソコンと接続した充電（USB）と表示されたりすることがあります。

4 充電が完了したら、卓上ホルダを手で押さえながら本端末を持ち上げて取り外す

5 ACアダプタ本体をコンセントから取り外す

6 卓上ホルダの外部接続端子から、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを水平に抜く

7 ACアダプタ本体からmicroUSB接続ケーブルのUSBプラグを水平に抜く

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を2秒以上押す

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（P.39）。

2 画面ロックを解除する

お買い上げ時は、画面ロックが「タッチ」に設定されています。解除するにはロック画面でをタップします。

お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- 画面ロックを「タッチ」に設定している場合、ロック画面で通知パネルを表示できます。

電源を切る

1 を1秒以上押す

2 「電源を切る」→「OK」

基本操作

タッチパネルの操作方法

本端末のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネルをご利用になる前に

本端末は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

お知らせ

- 確認画面などポップアップの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると、操作が中止されることがあります。

■ タップ／ダブルタップ
項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

■ スワイプ
ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。

■ ピンチ
ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像などを拡大／縮小するときに使用します。

■ スライド
ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

■ ドラッグ
アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

■ **ロングタッチ**

メニューが表示されるなど、目的の動作が起こるまでアイコンやキーに触れた状態を保ちます。

ディスプレイの表示方向の自動切替を設定する

本端末の向きや傾きを感知して、ディスプレイの表示方向が自動的に縦／横に切り替わるように設定できます。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「表示」

2「画面の自動回転」にチェックを付ける

■ お知らせ

- ホーム画面や一部の機能の画面など、表示方向が自動的に切り替わらない場合があります。

画面表示を画像として保存する

ディスプレイの画面表示の内容を画像として保存することができます（スクリーンショット）。

1 スクリーンショットを保存したい画面で⊂⊃と▯を同時に1秒以上押す

- スクリーンショットが保存され、ステータスバーに▣が表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、保存した画像を表示できます。

■ お知らせ

- 機能やアプリケーションによっては、スクリーンショットが保存できない場合があります。

初期設定

ドコモサービスの初期設定

はじめて電源を入れたときは、ドコモサービスの初期設定画面が表示されます。

1 「進む」
以降、画面に従って以下の設定を行います。
- アプリ一括インストール
- おサイフケータイの利用
- ドコモアプリパスワードの設定
- 位置提供設定
- プリインアプリ利用状況送信

2 「OK」

Googleアカウントの設定

Google アカウントを設定することで、Gmail や Google PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」**

2 **「アカウントと同期」→「アカウントを追加」→「Google」**
以降の操作については、画面の指示に従ってください。

Wi-Fiを設定する

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「Wi-Fi」**

2 **「OFF」**
「ON」が表示され、Wi-FiがONになります。
利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。

3 **接続するアクセスポイントをタップ**
- セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。

■ お知らせ

- Wi-Fi が ON のときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的にLTE／3G／GPRSネットワーク接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、をタップして呼び出すことができます。

ホーム画面

「ひつじのしつじくん®」
© NTT DOCOMO

❶ ホーム画面位置
ホーム画面の現在位置を表示します。左右にスワイプして切り替えられます。

❷ ウィジェット：検索
ウィジェット（検索）の起動や操作を行います。

❸ ウィジェット：ｉチャネル
ウィジェット（ｉチャネル）の起動や操作を行います。

❹ ウィジェット：マチキャラ
メール受信や着信などの情報をお知らせします。
❺ ショートカット（アプリケーション）
アプリケーションや機能を起動したりします。
❻ アプリケーションボタン
タップすると、アプリケーション画面が表示されます。（P.47）
❼ 壁紙
❽ ドック
ホーム画面を切り替えても常に表示され、ショートカット、フォルダ、グループを配置できます。

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ**
2 **「ショートカット」／「ウィジェット」／「フォルダ」**
3 **ホーム画面に追加したい項目をタップ**

お知らせ

- 追加したショートカットやウィジェット、フォルダを削除するには、削除したいショートカット／ウィジェット／フォルダをロングタッチ→「削除」をタップします。

きせかえの変更

ホーム画面の壁紙やアプリケーション画面のデザインなどを一括設定できる機能です。

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「きせかえ」**

2 設定するテーマを選択→「設定する」

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「壁紙」

2 「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」／「壁紙ギャラリー」から選択→壁紙を選択
- 「ギャラリー」の場合、壁紙として使用する箇所を、トリミング枠をドラッグして指定し、「保存」をタップします。
- 「ライブ壁紙」／「壁紙」／「壁紙ギャラリー」の場合、「壁紙に設定」をタップします。

ステータスバー

ディスプレイ上部に表示されるステータスバーには、不在着信やメールの受信、データの送受信の結果などをお知らせする通知アイコンや、本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

主な通知アイコン

アイコン	状態
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり

アイコン	状態
	新着spモードメールあり
	SMSの送信失敗
	新着インスタントメッセージ（Googleトーク）あり
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり（数字は件数）
	予定（カレンダー）の通知あり
	メディアプレイヤーで音楽再生中
	エラー発生（同期不具合など）
	本端末のメモリの空き容量低下
	Wi-FiがONかつWi-Fiオープンネットワークが利用可能
	VPN接続中
	USB接続中
	USBデバッグ（デバッグモード）で接続中
	非表示の通知あり
	着信中
	不在着信あり
	Bluetooth通信でデータ受信中
	データのアップロード
	データのダウンロード
	Google Playに更新可能なアプリケーションあり

アイコン	状態
	Google Playなどからアプリケーションをインストール完了
	d マーケットに更新可能なアプリケーションあり
	ソフトウェア更新可能
	USBテザリング設定中
	Wi-Fiテザリング設定中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング設定中
	Wi-Fi Direct起動中
	GPS測位中
	スクリーンショット保存完了
	ワンセグをバックグラウンドで視聴中
	ワンセグ録画中
	パーソナルエリアなどの通知あり
	キーボード表示中
	あんしん遠隔サポート起動中
	おまかせロック設定中

主なステータスアイコン

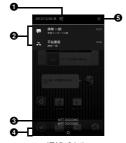
アイコン	状態
	LTE使用可能
	LTE通信中

アイコン	状態
	HSPA使用可能
	HSPA通信中
	3Gデータ通信使用可能
	3Gデータ通信中
	Wi-Fiネットワーク接続中
	Wi-Fiネットワークデータ通信中
（グレー）	Bluetooth起動中
（青色）	Bluetooth対応機器に接続中
	機内モード設定中
	アラーム設定中
	データ同期中
※	電波レベル
	ローミング中
	圏外
	ドコモminiUIMカード未挿入
	マナーモード（バイブレーション）設定中
	マナーモード（ミュート）設定中
	おサイフケータイ ロック設定中
	電池残量ほとんどなし ● 充電してください。

アイコン	状態
	電池残量少
	電池残量十分
	充電中

※：パケット通信の電波レベルが弱いときはグレーで表示されます。

通知パネル

ステータスバーを下にスライドすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認できます。

通知パネル

❶ タップして、設定メニューを呼び出すことができます。
❷ 通知情報や実行中の情報が表示されます。タップすると通知情報の確認や関連機能の操作ができます。通知情報は、左右にスワイプすると消去できます。
❸ 上には在圏する通信事業者名、下にはSIMカードに登録されている通信事業者名が表示されます。
❹ 上にスライドして通知パネルを閉じます。

❺ 通知情報をまとめて消去します。通知内容によっては消去できません。

アプリケーション画面

アプリケーション画面には、インストールされているアプリケーションのアイコンがグループ別に表示されます。

1 ホーム画面で
アプリケーション画面が表示されます。

❶ **アプリタブ**
アプリケーション画面を表示します。

❷ **おすすめタブ**
ドコモがおすすめするアプリケーションをインストールできます。

❸ **グループ名**
タップすると、グループ内アプリケーションを表示／非表示できます。

❹ **アプリケーションアイコン**
新規にアプリケーションをダウンロードした場合や既存のアプリケーションが更新された場合、アイコンの左上に が表示されます。ホーム画面の も赤く縁取られます。
不在着信や未読メールの件数などが数字で表示されるアイコンがあります。

❺ グループ内アプリケーション
アプリケーション画面でピンチアウト／ピンチインすると、すべてのグループ内アプリケーションを表示／非表示できます。
❻ グループ内アプリケーションの数

ショートカットのホーム画面への追加

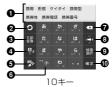
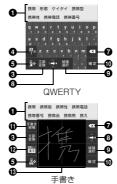
1 アプリケーション画面で、ホーム画面に追加したいアプリケーションやグループをロングタッチ
2「ホームへ追加」

文字入力

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用します。
ここでは、「FSKAREN（エフエスカレン）」で文字を入力する方法について説明します。

FSKARENで入力する

FSKARENでは、次の3種類のキーボードを利用できます。
- 10キー：複数の文字が各キーに割り当てられています。スワイプして文字を入力するフリック入力、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトグル入力、2タッチ入力の3種類から選択できます。
- QWERTY：パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。
- 手書き：手書きで文字を入力します。

10キー

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
❷ トグル入力時、キーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
❸ 変換を行います。
❹ 文字入力モードを変更します。
❺ キーボードの種類を変更します。
❻ 入力中の文字の大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
❼ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❽ 上／下／左／右にスワイプして、カーソルを動かします。スワイプすると矢印の方向が切り替わり、タップするだけで矢印の方向にカーソルを動かせます。
❾ 変換候補のカーソルを順番に移動します。
- 「Space」が表示されているときは、スペースを入力します。

❿ 入力中の文字を確定します。
⓫ 手書き中の文字の候補を表示します。
⓬ 文字認識モードを変更します。
⓭ 手書きで文字を入力します。

ロック／セキュリティ

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用 PIN ／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ **画面ロック用PIN／パスワード**

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ **ネットワーク暗証番号**

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なおdメニューからは、dメニュー→「お客様サポートへ」※→「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※：「My　docomo」「お客様サポート」については、P.95をご覧ください。

■ **PINコード**

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してください。

■ **PINロック解除コード（PUK）**

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

お知らせ

- PINコードがロックまたはドコモminiUIMカードがロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

PINコードを設定する

電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本端末を使用できないように設定します。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」**

2 **「SIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」**

画面ロックの解除方法を設定する

パターン／PIN／パスワードの入力や顔認識など、あらかじめ設定したロック解除操作を行わないと画面ロックを解除できないように設定します。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「セキュリティ」→「画面のロック」**

2 **画面ロックの解除方法を選択→画面の指示に従って設定**
   - 「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」は4～16桁の英数字（英字が最低1文字必要）で設定します。

電話／メール／ウェブブラウザ

電話

電話をかける

1 **ホーム画面で→「ダイヤル」**

2 **相手の電話番号を入力**
- 入力を間違えたときは、 をタップして削除します。

3

相手が応答すると通話中画面が表示されます。

4 **通話が終了したら「終了」**

■ お知らせ

- 通話中画面では主に次の操作ができます。
  - 「通話を追加」※：別の相手に電話をかけます。
  - 「ダイヤルキー」：ダイヤルキーを表示してプッシュ信号を送信します。
  - 「保留」※：通話を保留／保留解除します。
  - 「ミュート」：自分の声が相手に聞こえないようにします。
  - 「スピーカー」：相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

※「キャッチホン」の契約が必要です。
- 通話音量を調節するには▯／▯を押します。通話中以外は、通話音量を調節することはできません。

緊急通報

本端末が電波の届く範囲内にあるときは、緊急電話番号の110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力して電話をかけることができます。

お知らせ

- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合や、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

2 **「操作開始」→「通話」**
通話が開始されます。

3 **通話が終了したら「終了」**

メール

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- sp モードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 **ホーム画面で→画面の指示に従ってspモードメールアプリをダウンロードする**

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）のテキストメッセージを送受信できます。

1 **ホーム画面で→「メッセージ」**

Eメール

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

- あらかじめ必要なEメールアカウントの設定情報をご確認ください。

1 **ホーム画面で→「メール」**

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。
- あらかじめGoogleアカウントの設定が必要です。

1 ホーム画面で◉→「Gmail」

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。
- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中、ドコモminiUIMカードが取り付けられていないとき、電波が受信できないとき、データ通信中、Wi-Fiテザリング中、ソフトウェア更新中、OSバージョンアップ中、通話中、パケット通信中（ストリーミング再生中、データ通信中）は受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

■ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。
- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

■ 受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で◉→「エリアメール」

2 確認したいエリアメールをタップ

■ 緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で◎→「エリアメール」→☰→「設定」

2 項目を設定

項目		説明
受信設定		エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音		着信音の鳴動時間、マナーモード設定時も着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認		緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面および着信音を確認します。
その他の設定	受信登録	緊急地震速報などの他に受信したいエリアメールの登録／削除を行います。

ウェブブラウザ

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。

● ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

1 ホーム画面で🌐

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、通知音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」**

2 **メニュー項目を選択して設定を行う**

無線とネットワーク	
Wi-Fi	Wi-Fi機能を設定します。
Bluetooth	Bluetooth機能の設定をします。
データ使用	データ通信の設定やデータ使用量の確認などを行います。
その他...	機内モードやVPN、テザリングなどを設定します。
端末	
音	着信音や通知音、マナーモードなどを設定します。
表示	画面の明るさやバックライトの消灯時間などを設定します。
ストレージ	内部ストレージやmicroSDカードのメモリ容量の確認などを行います。
電池	電池パックの使用状況を確認します。
アプリ	アプリケーションの情報確認や、強制停止／アンインストールなどの操作を行います。
ユーザー設定	
ドコモサービス	ドコモサービスの利用に関する設定をします。
通話設定	ネットワークサービスや国際ローミングなど、通話に関する設定を行います。
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウントの追加／削除や同期方法などを設定します。

位置情報サービス	位置情報の利用についての設定をします。
セキュリティ	セキュリティについての設定をします。
言語と文字入力	使用する言語や文字の入力方式などを設定します。
バックアップとリセット	バックアップの設定や本端末のリセットなどの操作を行います。
システム	
日付と時刻	日付と時刻を設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助のアプリケーションや機能を設定します。
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新設定の変更や更新操作を行います。
省電力モード	本端末の電池の消費を抑えます。
開発者向けオプション	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。
高速ブート	本端末の起動時間を短縮します。
端末情報	電話番号や電池残量、バージョンなどの情報を確認できます。

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

■ アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」→☰→「新しいAPN」

2「名前」→作成するネットワークプロファイルの名前を入力→「OK」

3「APN」→アクセスポイント名を入力→「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力する

5 ☰→「保存」

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 ☰→「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

■ mopera Uを設定する

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 「mopera U」／「mopera U設定」の●（黒）をタップして◎（青）にする

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Wi-Fiテザリングを利用する

Wi-Fiテザリングを利用すると、他の通信機器から本端末のパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 他の通信機器から本端末に同時に接続できるのは、最大8台です。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「その他...」

2 「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」→注意事項の詳細を確認→「OK」

「Wi-Fiテザリング」にチェックが付き、ステータスバーにが表示されます。

- Wi-Fi ネットワーク接続中に Wi-Fi テザリングを有効にすると、パケット通信に切り替わります。

ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認／変更する

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「その他...」

2 「テザリング」→「Wi-Fiアクセスポイントを設定」

3 ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認／変更

- セキュリティは「Open」「WPA PSK」「WPA2 PSK」から選択できます。
- 変更する場合は、入力の完了後に「保存」をタップします。

USBテザリングを利用する

microUSB接続ケーブル01（別売）を使用して、本端末と他の通信機器を接続します。設定を行うと、他の通信機器から本端末のパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- USBテザリングの詳細については、ホーム画面で▤→「本体設定」→「その他...」→「テザリング」→「ヘルプ」をご確認ください。
- USBテザリング設定中は、本端末のmicroSDカードまたは内部ストレージをUSBストレージとしてパソコンから利用することはできません。

1 本端末と通信機器をmicroUSB接続ケーブル01（別売）で接続

2 ホーム画面で▤→「本体設定」→「その他...」→「テザリング」

- 「USBテザリング」の下に、USB接続済みであることが表示されます。

3 「USBテザリング」→注意事項の詳細を確認→「OK」

「USBテザリング」にチェックが付き、ステータスバーに[USBアイコン]が表示されます。

- USBテザリングの設定を解除する場合は、「USBテザリング」のチェックを外してから本端末の取り外し操作を行ってください。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まず、はじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.74）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか（P.30）。 • 電池切れになっていませんか（P.45）。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない(LEDランプが点灯しない、ステータスバーに充電中を示すアイコンが表示されない)	• 電池パックが正しく取り付けられていますか(P.30)。 • アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか(P.32)。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか(P.32)。 • ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末または卓上ホルダ(別売)にしっかりと接続されていますか。 • 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 • 本端末とパソコンをmicroUSB 接続ケーブル01(別売)で接続している場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が完了できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また充電しながらアプリケーションなどを長時間使用した場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すことから、より多くの電力を消費します。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の充電で使用できる時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
ドコモminiUIMカードが認識されない	• ドコモ miniUIM カードを正しい向きで挿入していますか(P.28)。
タッチパネル／タッチキーをタップしたとき、またはキーを押したときに動作しない	• スリープモードになっていませんか。を押してスリープモードを解除してください。
時計の時刻がずれる	• 長期間、電源を入れた状態にしていると、時計の時刻がずれる場合があります。「日付と時刻」(P.59)の「日付と時刻の自動設定」にチェックが付いていることを確認して、電波状態のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 1. 設定メニューの「高速ブート」（P.59）をOFFにしたあと、本端末の電源を切る 2. 電源を切った状態で⊂⊃を2秒以上押し、「HUAWEI Ascend」ロゴが表示されたら、本端末が1回振動するまで▯（音量下キー）を押し続ける ※セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにして、起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了させてからご利用ください。

症状	チェックする箇所
電源断・再起動が発生する	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

■ 通話

症状	チェックする箇所
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないが発信／着信ができない）	• 電源を入れ直してください（P.35）。 • 電池パックを取り付け直してください（P.30）。 • ドコモ miniUIM カードを取り付け直してください（P.28）。 • 電波の性質により、圏外ではなく、電波レベルのアイコンが4本表示されている場合でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。 場所を移動するか、または時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
Phone is USIM Network locked 携帯電話がUSIMネットワークロックされています	• 他事業者の SIM カードが挿入された場合に表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 **スマートフォン遠隔サポートセンター**
0120-783-360
受付時間：午前9：00～午後8：00（年中無休）
へ電話する

2 **ホーム画面で→「遠隔サポート」**
- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 **ドコモからご案内する接続番号を入力する**

4 **接続後、遠隔サポートを開始する**

端末初期化

本端末を初期化して、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「バックアップとリセット」→「データの初期化」

- microSDカード内のデータも同時に削除したい場合は、「SDカード内データを消去」にチェックを付けます。

2 「リセット」→「すべて消去」

お知らせ

- 初期化の操作を行うと工場出荷時の状態に戻り、保存されたデータだけでなく各種設定も初期状態になります。撮影した写真やダウンロードした音楽などのデータのみ削除したい場合は、ホーム画面で☰→「本体設定」→「ストレージ」→「内部ストレージ内データを消去」をタップしてください。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.64）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります。**

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります。）

  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

ご要望により有料修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る。
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、マイク
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

HW-01Eのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
更新方法は、次の3種類があります。

- 自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
- 即時更新：今すぐ更新を行います。
- 予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続する事をおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません」と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のHW-01E固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新設定

お買い上げ時は、自動更新の設定が「自動で更新を行う」に設定されています。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「ソフトウェア更新」→「ソフトウェア更新設定の変更」

2「自動で更新を行う」／「自動で更新を行わない」

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。

付録

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 通知パネルを開く→「ソフトウェア更新有」

書き換え時刻をお知らせする予告画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

- 「OK」：設定時刻になると更新を開始します。
- 「開始時刻変更」：予約更新（P.78）
- 「今すぐ開始」：即時更新（P.77）

■ お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が「自動で更新を行わない」の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには、書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 ホーム画面で→「本体設定」→「ソフトウェア更新」→「更新を開始する」→「はい」

■ 書き換え予告画面から起動する場合

①書き換え予告画面を表示→「今すぐ開始」

2「書き換え処理を開始します」表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- 「OK」をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

■お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに完了通知が表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、更新完了画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **書き換え予告画面を表示→「開始時刻変更」**

2 **時刻を入力→「設定」**

予約した時刻になると

開始時刻になると書き換え処理画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

■お知らせ

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。

- 開始時刻にHW-01Eの電源がOFFの場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時に、ステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。本体メモリの空き容量を確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合には、本端末の内部ストレージの空き容量を確認したうえで、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実行時に、ステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合は、下記の状態でないことをご確認のうえ、再度更新を行ってください。
  - 圏外である
  - 電池パックが外れている
  - 他の機能を起動している

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種HW-01Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.269W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
華為技術日本株式会社のホームページ
http://www.huaweidevice.jp/ascend/index.html
上記URLよりHW-01Eをご確認ください。URLは予告なく変更される場合があります。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Operating Environment

The device complies with the RF specifications when the device is used near your ear or at you body. For body worn operation, please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

Certification Information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves.
Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves.
These guidelines were developed by the independent scientific organization International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) and include safety measures designed to ensure safety for all users, regardless of age and health.
The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level of the device when being operated can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network.
The SAR limit adopted by USA and Canada is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The Highest SAR value reported to the FCC and IC for this device type when tested for use at the ear is 0.63 W/kg, when properly worn on body is 0.97 W/kg, and when using Wi-Fi hotspot function is 1.20 W/Kg.

The SAR limit also adopted by Europe is 2.0 W/kg averaged over 10 grams of tissue. The highest SAR value for this device type when tested at the ear is 0.359 W/kg.

FCC Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to this device not expressly approved by Huawei Technologies Co., Ltd. may void the FCC authorization to operate this device.

Disposal and Recycling Information

This symbol on the device (and any included batteries) indicates that they should not be disposed of as normal household garbage. Do not dispose of your device or batteries as unsorted municipal waste. The device (and any batteries) should be handed over to a certified collection point for recycling or proper disposal at the end of their life.
For more detailed information about the recycling of the device or batteries, contact your local city office, the household waste disposal service, or the retail store where you purchased this device.
The disposal of this device is subject to the Waste from Electrical and Electronic Equipment (WEEE) directive of the European Union. The reason for separating WEEE and batteries from other waste is to minimize the potential environmental impacts on human health of any hazardous substances that may be present.

Reduction of Hazardous Substances

This device is compliant with the EU Restriction of Hazardous Substances (RoHS) Directive (Directive 2002/95/EC of the European Parliament and of the Council).

EU Regulatory Conformance

Hereby, Huawei Technologies Co., Ltd. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
For the declaration of conformity, visit the Web site www.huaweidevice.com/certification.

CE0682ⓘ

- Observe the national local regulations in the location where the device is to be used. This device may be restricted for use in some or all member states of the European Union (EU).
- This device may be operated in all member states of the EU.

France: Outdoor use limited to 10 mW e.i.r.p. within the band 2454 - 2483.5 MHz.
Italy: For private use, a general authorisation is required if WAS/RLAN's are used outside own premises. For public use, a general authorisation is required.
Norway: This subsection does not apply for the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund.

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License（GPL)、またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
ライセンスの詳細を確認するには、本端末の設定メニューで「端末情報」→「法的情報」で表示される内容、および本端末とパソコンを「HiSuite」モードで接続し、パソコンから「HiSuite」デバイスを開いてファイルを参照ください。

書面によるオファー

本端末に含まれるGPLソースコード入りCDの送付をご希望の場合、Mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標

- 「dメニュー」「dマーケット」「eトリセツ」「FOMA」「ｉアプリ」「ｉコンシェル」「ｉチャネル」「ｉモード」「mopera」「mopera U」「spモード」「Xi」「Xi／クロッシィ」「エリアメール」「おサイフケータイ」「おまかせロック」「ケータイデータお預かりサービス」「公共モード」「デコメール®」「マチキャラ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

付録

- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「モバイルGoogleマップ」、「Googleトーク」、「Googleトーク」ロゴ、「Google Latitude」、「Google Calendar」、「Google+」、「Google+ローカル」、「Google+ローカル」ロゴ、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Picasa」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DISCRETIX™、DISCRETIX™ LOGOはDiscretix™の登録商標です。

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

Windowsの表記について

本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。
- Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Ultimate、Windows Vista® Businessの略称です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

英数字

付録

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから　dメニュー→「お客様サポートへ」→「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。

※ sp モードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。

※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

運転中の本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ **公共モード（電源OFF）**

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ **バイブ**

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ **マナーモード**

着信音や通知音、操作音など本端末から鳴る音を消します。

※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※HW-01Eからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※HW-01Eからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Huawei Technologies Co., Ltd.
'12.10（1版）